

2026 年度 全道推進会議 総会



日 時 2026 年 6 月 25 日（木） 13:30～

場 所 ホテルポールスター札幌 2階「ポールスターホール」
札幌市中央区北4条西6丁目 （011）330-2532

北海道労働金庫推進会議

議 事 次 第

開 会 海 野 副 議 長

全道推進会議挨拶 高 倉 議 長

< 来賓挨拶 >

連合北海道 須 間 会 長

北海道労働金庫 杉 山 理 事 長

全道推進会議

< 報告事項 >

I. 2025 年度推進活動総括（案）	紺野事務局長
II. 退職金結集運動	〃
III. 2025 年度決算報告（案）	〃
IV. 2025 年度会計監査報告	鈴木会計監査
～質 疑～	

< 協議事項 >

I. 2026 年度推進活動方針（案）	紺野事務局長
II. 2026 年度予算（案）	〃
III. 各キャンペーンの推進	〃
IV. 「優良会員」および「個人活動家」に対する表彰（案）	〃
V. 「会員労組を経由する組合員との取引」に関する留意事項	〃
VI. 規約、会計規則、旅費規程 改正（案）	〃
VII. 役員の変更	〃
VIII. 今後の日程	〃
～質 疑～	

閉 会 海 野 副 議 長

＜報告事項＞

I. 2025 年度推進活動総括（案）

2025 年度におけるろうきん運動の推進は、ろうきんの長期ビジョン・中期経営計画（2025～2029 年度）の初年度として、ろうきんが掲げる「未来の共生社会をきずく、はたらく人のベストバンク」として存在できるよう、ろうきん創立からの変わらぬ想いを会員が共有する価値観として大切にし、会員・推進機構が一丸となって各種取組みを進めてきました。

具体的には、「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動を基軸とし、ろうきん運動の原点である「預金結集」や「可処分所得向上運動」を進め、組合員との接点強化に資する各種取組みを行うことで、会員組合員メインバンク No. 1 への取組みを展開しました。

＜重点取組項目＞

1. 【つなぐプロジェクト for SDGs】における「自主目標設定運動」の取組み

- (1) 【つなぐプロジェクト for SDGs】の達成にむけ「会員自主目標推進運動」を『重点取組み項目』に設定し、ろうきん運動の強化・ろうきん利用者の裾野拡大に取組みました。
- (2) 各店・出張所推進委員会においては、会員自主目標設定運動を定番化した上で、「会員自主目標の設定件数」が「つなぐプロジェクト会員目標」に近づくよう取組みを展開した結果、会員自主目標推進運動は 3 月末時点で 752 件（前年対比+66 件）となりました。【資料 1-①・②参照】

2. 【生活応援運動】における「可処分所得向上運動」の取組み【資料 2 参照】

- (1) 『共通取組み』である【生活応援運動】の展開において、昨今の物価高騰や借入利率の上昇等の状況を踏まえ、より重要性が増している家計の可処分所得向上に資する取組みを『重点取組項目』に設定し、組合員の生活改善に取組みました。
- (2) 組合員の「可処分所得向上額前年対比UP」を目標とし、職域活動費を活用した学習会等による組合員への周知活動、「他行・他社高金利ローンからろうきんの低金利商品への借換推進（借換応援キャンペーン）」や「奨学金借換ローンの周知活動」によって、組合員の可処分所得向上に資する運動を展開しました。

① 可処分所得向上運動

可処分所得向上額（2026 年 3 月末時点）
【実績】18 億 80 百万円（前年同期比+5 億 53 百万円）
可処分所得向上運動に関する学習会開催実績（2026 年 3 月末時点）
【実績】546 件／13,221 名（前年同期比▲35 件）

② 「奨学金借換ローン」「奨学金借換+αローン」周知運動

【奨学金借換ローン】

奨学金借換ローン新規実績（2026 年 3 月末時点）
【実績】53 件／1 億 73 百万円（前年同期比 20 件／84 百万円）
奨学金借換ローン累計実績（2026 年 3 月末時点）
【実績】598 件／15 億 11 百万円（集計期間：2017 年 10 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

【奨学金借換+αローン】

奨学金借換+αローン新規実績（2026年3月末時点）
【実績】18件／88百万円（前年同期比▲20件／▲80百万）

※自治労北海道が、奨学金の返済に苦慮する仲間の支援に加え、組織強化と次代の担い手育成につなげることを目的に、北海道労働金庫と連携の上、2022年12月に取扱いを開始した組合保証の「奨学金借換ローン」は、2026年3月末時点で、124件、3億37百万円 of 取組実績となりました。

③ 有期・短時間等労働者組合員取引拡大運動

全力応援 pack（有期・短時間労働者向け融資商品）新規件数（2026年3月末時点）
【実績】584件（前年同期比▲40件）

<共通取組項目>

1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動の展開【資料3-①～③参照】

- (1) ろうきんが、組合員にとって「身近な金融機関」であり、更には「一番利用される金融機関」となるよう、会員・推進機構とろうきんが一体となって、ろうきん運動の強化と利用者の裾野拡大に取組みました。
- (2) 具体的には、「会員自主目標推進運動」を基軸として、年度当初に寄付先を選定し、地域団体への貢献と連携を進めたうえで、大会議案書での取組方針化や機関紙掲載、また執行委員会・学習会等での議題化等により、フルキャッシュバックサービスの周知をはじめ、組合員へ広く知らせる活動を展開しました。
- (3) 結果として、2026年3月末時点での同プロジェクト対象項目の預金・融資・各種サービス新規取引実績は48,538件、北海道ろうきんATM利用件数は1,358,408件、ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数は498,680回、非対面項目が32,574件、ろうきん運動項目が1,474件、NPOとの連携項目が29件となりました。利用実績やろうきん運動項目等に応じた福祉団体への寄付見込額は10,870千円（前年同期比+486千円）となりました。

【預金・融資・各種サービス実績】

No	項 目	年間目標	3月末実績	達成率
①	メイン化（給振・年金・公振・クレジット）	18,500	19,816	107.1%
②	預金（財形・エース・お子さま口座）	6,800	8,040	118.2%
③	融資（団体融資・手形貸付等除く）	15,190	18,715	123.2%
④	預かり資産（個人型DC新規・投信契約者増加数・国債新規）	850	1,967	231.4%
	合 計	41,340	48,538	117.4%

【北海道ろうきんATM利用件数】

項目	件数
北海道ろうきんATM利用件数	1,358,408件

※ 北海道ろうきんATMにて入金・出金（ローンカード含む）1回につき1円を寄付。

【ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数】

項目	件数
ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数	498,680回

※ 北海道ろうきん口座からのスマホ決済チャージ回数1回につき1円を寄付。

【非対面項目実績】

項目	年間目標	3月末実績	達成率
非対面（ろうきんアプリ・エコ通帳・団体 I B）	35,100	32,574	92.8%

【ろうきん運動項目実績】

No	項目	回数・会員数
①	学習会開催回数	1,014 回
②	議案書・機関紙への掲載会員数	460 会員
	合 計	1,474

【NPOとの連携項目実績】

No	項目	件数
①	融資相談件数	18 件
②	NPO法人普通預金口座開設数	11 件
	合 計	29 件

【会員自主目標推進運動実績】

項目	会員数
会員自主目標設定会員数	752 会員

(4) 本支店・出張所推進委員会表彰

表彰推進委員会は、23 先が対象となりました。

順位	推進委員会名	表彰金	表彰理由
1 位	①遠軽出張所	5 万円	達成率 1 位
2 位以下	②室蘭連合支店、③千歳支店、④函館支店、 ⑤苫小牧支店、⑥八雲支店、⑦網走支店、 ⑧中標津支店、⑨岩見沢支店、⑩旭川支店、 ⑪札幌東支店、⑫稚内支店、⑬静内支店、 ⑭札幌麻生支店、⑮札幌西連合支店、 ⑯留萌支店、⑰江別支店、⑱富良野支店、 ⑲名寄支店、⑳倶知安支店、㉑帯広支店、 ㉒小樽支店、㉓釧路支店	1 万円	達成率 100%超 ※達成率順

※表彰金は当該推進委員会に地域活動費として支出。

※2026 年度についても同様に達成率 1 位の推進委員会に対し、5 万円を贈呈・表彰します。また、達成率 100%超の推進委員会に対し、1 万円を贈呈します。

(5) つなぐプロジェクト 2025 年度寄付事業【資料 4 参照】

- ① つなぐプロジェクト対象項目の「利用実績に応じた各地域の福祉団体への寄付額」は 10,870 千円となったことから、1 推進委員会の寄付額は 351 千円となりました。

【計算式】 $10,870,588 \div 31 (\text{各店・出張所推進委員会}) = 350,664 \text{ 円} \approx 351,000 \text{ 円}$
(百円以下切り上げ)

※ 本部選定寄付先団体への寄付額は、各推進委員会と同額の 351 千円とします

(「利用実績に応じた各地域の福祉団体への寄付額 10,870 千円」とは別枠支出)。

- ② 北海道との包括連携協定項目である「ほっかいどう未来チャレンジ基金に係る支援・協力」は、「つなぐプロジェクト寄付事業」と連動した取組みとし、寄付額は 142

千円となりました。

※「利用実績に応じた各地域の福祉団体への寄付額 10,870 千円」とは別枠支出。

【計算式】 寄付基礎額 10 万円 + Young pack2025 年度取組件数に応じた金額: 41,200 円 (新規契約件数 824 件 × 1 件 50 円) = 141,200 円 ÷ 142,000 円 (百円以下切り上げ)

③ 結果、つなぐプロジェクト「2026 年度寄付事業」は、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」を含め、寄付先 47 団体・寄付総額 11,374 千円となりました。

	寄付項目	寄付額
金庫全体	「つなぐプロジェクト」寄付総額	11,374,000 円
各推進委員会	「各店・出張所推進委員会」寄付額	351,000 円

2. 「生活応援運動」の取組み ～「生活設計」「生活改善」「生活防衛」～

(1) 生活設計運動の取組み

① 「資産形成“二刀流”キャンペーン」を展開し、組合員の資産形成に取り組めました。取組みにあたっては、組合員の「貯蓄」と「投資」のバランスに配慮し、特に勤労者のみが利用できる財形貯蓄制度について、資産形成における重要な「守りの資産」であることを周知し取り組めました。

資産形成“二刀流”キャンペーン(2025 年 4 月 1 日～2026 年 1 月 31 日)
新規・増額件数 (2026 年 3 月末時点)
財形新規・増額件数 5,392 件 / iDeCo 新規件数: 108 件 /
投資信託定時定額買付(NISA 制度含む): 509 件

※ キャンペーン対象商品 (適用条件有)

ア. ためるコース: 「財形貯蓄」の新規契約または増額契約

イ. 運用するコース: 「iDeCo」または「投資信託定時定額買付」の新規契約または既に契約されている方

エース預金新規件数 (2026 年 3 月末時点)
【新規件数】 1,294 件 (前年同期比+491 件)

投資信託・国債新規件数 (2026 年 3 月末時点)
投資信託新規件数: 308 件 / 国債新規件数: 1,420 件

② 退職者層の生涯取引に向けて、前年度から引き続き「退職金結集運動」を展開し、産別からの退職者情報提供 (4 産別)」「全開発・JP 労組・北教組における機関会議での取組方針化」「説明会・セミナー開催 (36 会員・589 名)」など会員・推進機構による主体的な運動に取り組めました。【資料 5 参照】

退職金結集金額 (2026 年 3 月末時点)
【運動目標】 180 億円 【運動成果】 251 億 95 百万円 (目標対比+71 億 95 百万円)

③ ろうきん運動の原点である「季節キャンペーン」を展開し、夏季・冬季一時金の預入について、取組みを実施しました。

2025 サマーキャンペーン実績 (6 月 3 日～7 月 31 日)
【定期・エース預金新規預入】 9,546 件・205 億 60 百万円
2025 ウィンターキャンペーン実績 (11 月 1 日～12 月 30 日)
【定期・エース預金新規預入】 16,007 件・104 億 43 百万円

- ④ 「つなぐプロジェクト」と連動し、非対面商品・サービスの取引拡大に取り組ましました。

ろうきんアプリ契約件数（2026年3月末時点）
【契約件数】21,397件【累計契約件数(2019年10月22日～2026年3月末)】116,629件
エコ通帳〔通帳不発行型の普通預金口座〕（2026年3月末時点）
【新規件数】11,083件（前年同期比+1,622件）

(2) 「生活改善」運動の取り組み【資料6-①～③参照】

「可処分所得向上運動」を【重点取組項目】に設定し、ろうきんとの連携強化を図りました。また、組合員の「生活向上」に資する取組みとして、住宅ローンや轟ローン・教育ローンなどの目的ローンの周知、利用拡大に取り組ましました。

① 住宅ローン推進運動

有担保ローン新規目標額（2026年3月末時点）
【目標】620億円【実績】796億円（目標対比+176億円）

(3) 「生活防衛」運動の取り組み

- ① 組合員の突発的な出費に備え、「マイプラン」保有運動を展開しました。特に若年層について「マイプラン」の適用金利が優遇される「Young pack キャンペーン」の周知活動を展開しています。

Young pack キャンペーン実績（2026年3月末時点）
【実績】824件（前年同期比+3件）

- ② マネートラブルや多重債務から会員・組合員を守るための運動として、動画視聴等を活用した学習会・セミナー等の開催に取り組ましました。【資料7-①・②参照】

生活防衛運動に関する学習会開催回数（2026年3月末時点）
【開催回数】258件【参加組合員数】6,707人

- ③ 多重債務に陥った組合員の相談は、北海道ろうきんの「お客様相談室」「本支店・出張所多重債務相談員」と連携し対応を行いました。

多重債務相談（2026年3月末時点）
高金利ローン借換・多重債務相談件数】1,321件

3. 職域活動費の効果的な活用【資料8-①・②参照】

- (1) 会員による職域活動費を活用した学習会は730回、延べ17,177名出席となり、会員組合員との接点強化が図られました(内、WEBを活用した学習会は3回となりました)。
- (2) 主に、「新人説明会」「若年層説明会」「住宅ローン等商品説明会」「資産形成に関する学習会」を目的とした活用となりました。
- (3) 取組みの結果、職域活動費の活用金額は31,168,546円（前年同期比+683千円）となりました。

4. 推進機構活性化運動の展開

(1) 運動の基盤強化

ろうきん運動基盤拡大に向け、「大会議案書へのろうきん運動方針化」「組合機関紙への商品・サービスの掲載」「職場推進委員会の設置・活性化」【資料9参照】に取り組ましました。結果として、「大会議案書へのろうきん運動方針化」は378会員、「組合機関紙

への商品・サービスの掲載」は 82 会員、「職場推進委員会の設置数」は 495 会員となりました。

(2) 「組合員様専用サイト」の活用

ろうきんがホームページ上に開設している「組合員様専用サイト」を活用し、地域・職場で工夫しながら取組んでいる各級ろうきん推進委員会の独自キャンペーン等の取組共有を図りました。また、必要に応じて同サイト内にある「ろうきん News」「機関紙用データ」を基にした教宣物を作成した他、「WEB アンケート BOX」を活用した取組みを展開した結果、当該ページへのアクセス数は 12,477 件となりました。

(3) 各推進機構の特徴的な取組みについて【資料 10 参照】

全道における各級推進機構が工夫を凝らした運動を展開しており、特徴的な活動を「各推進機構の活性化支援」を目的に情報共有を行いました。

(4) ナショナルセンターとの連携

「連合北海道」「北海道労働者福祉協議会」が「勤労者福祉の向上」を目的に展開する「勤労者福祉向上キャンペーン」の一環として、関係団体との合同による労働福祉事業団体の利用拡大に向けた要請活動を都合 21 産別・4 ブロック（上川、後志、釧路、空知）に対し実施しました。

加えて、労福協運動の理念・歴史を継承するために開催された「北部労福協『第 10 回労働者福祉運動の理念・歴史講座』」に参画しました。

5. ブロック別研修会の開催

今年度のブロック別研修会は、参加対象者をろうきん運動の担い手となる会員中堅役員ならびに青年女性層組合員とし、2 ブロックで開催しました。

【2025 年度ブロック別研修会開催日・開催地一覧】

対象ブロック	開催日	開催地
道南	9 月 19 日（金）	函館市
空知	11 月 10 日（月）	岩見沢市

6. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」と「北海道ろうきん」が連携し、「年金口座移管運動」を展開した結果、労金での年金受取口座は 27,285 件（2026 年 3 月末時点）となりました。

7. 組合員とろうきんの接点拡大に向けた取組み

「団体インターネットバンキング」、「賃金控除事務支援サービス」、「QR 伝票作成システム」を推進し、会員・ろうきん双方の事務効率化により活動時間の確保を図るとともに、組合員に対する福祉向上の運動強化に向けて取組み展開しました。

【2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日】

No	項 目	件数
①	団体 IB 契約数	84 件
②	賃金控除事務支援サービス契約数	122 件
③	QR 伝票印刷システム利用件数	49,066 件
	合 計	49,272 件

Ⅱ．退職金・預金結集運動【資料 11 参照】

北海道ろうきんへの定期性預金等の預入は、5 月 31 日現在で、252 億 2,300 万円（進捗率 100.9%）となりました。

この結果は、会員からの退職者情報提供や、組合役員による帯同オルグ、説明会・セミナーの開催等、会員・推進機構とろうきんが一体となった退職金・預金結集運動として結実したものと考えます。

（単位：百万円）

年度	定期性預金等目標	定期性預金等実績	進捗率(%)
2025 年度末	18,000	25,195	140.0
2026 年 5 月末	25,000	25,223	100.9
前 年 対 比	7,000	28	

Ⅲ. 2025 年度決算報告 <2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日／単位：円>

1. 地域活動費決算報告 (単位：円)

予 算		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
地域活動費	53,490,000	地域活動費	42,761,611
合 計	53,490,000	合 計	42,761,611

2. 職域活動費 (単位：円)

予 算		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
職域活動費	30,000,000	職域活動費	31,168,546
合 計	30,000,000	合 計	31,168,546

3. 事務局費 (単位：円)

予 算		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
旅 費	1,000,000	旅 費	723,646
会 議 費	200,000	会 議 費	60,000
事 務 局 費	300,000	事 務 局 費	40,000
広告・宣伝費	500,000	広告・宣伝費	0
合 計	2,000,000	合 計	823,646

Ⅳ. 2025 年度会計監査報告

次ページ「会計監査報告」を参照願います。

2026 年 4 月 28 日

北海道労働金庫推進会議
議長 高倉 司 殿

会計監査報告書

1. 会計監査実施日

2026 年 4 月 28 日（火）

2. 監査期間

自 2025 年 4 月 1 日 ～ 至 2026 年 3 月 31 日

3. 監査対象

北海道労働金庫推進会議事務局費

4. 立会人

北海道労働金庫推進会議

北海道労働金庫推進会議に関する事務局費の会計監査をした結果、帳簿及び証拠書類の処理が適正に行われていることを確認しました。

会計監査

鈴木 富夫 

三浦 友和 

<協議事項>

I. 2026 年度推進活動方針（案）

2026 年度は、ろうきんの「長期ビジョン」「中期経営計画（2025～2029 年度）ファーストステージ」における重点戦略・個別課題を踏まえ、中期経営計画の達成につながる取組みを着実に進展させます。

そのうえで、各取り組みの進捗や環境変化等を踏まえた金庫中間総括を指針にし、「フェーズ 2（2027～2029 年度）」に取組みをつなげていきます。

また、私たちは、ろうきんが掲げる「未来の共生社会をきずく、はたらく人のベストバンク」として存在できるよう、「だから ♪ ろうきん」を合言葉に会員・推進機構が一丸となって各種取組みを進めます。

具体的には、「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動を基軸とし、ろうきん運動の原点である「預金結集」や「可処分所得向上運動」を進め、組合員との接点強化に資する各種取組みを行うことで、会員組合員メインバンク No. 1 への取組みを進めます。

<重点取組項目>

1. 【つなぐプロジェクト for SDGs】における「自主目標設定運動」の取組み

- (1) 『共通取組み』である【つなぐプロジェクト for SDGs】の達成にむけ「**会員自主目標推進運動**」を『重点取組項目』に設定し、ろうきん運動の強化・ろうきん利用者の裾野拡大に取組みます。
- (2) 会員自主目標の設定にあたっては、会員自主目標設定運動を定番化した上で、つなぐプロジェクト「会員分件数目標」⇔「会員自主目標」をめざした取組みとなるよう、ろうきん各営業店と連携します。

2. 【生活応援運動】における「可処分所得向上運動」の取組み

- (1) 『共通取組み』である【生活応援運動】の展開において、昨今の物価高騰や借入利率の上昇等の状況を踏まえ、より重要性が増している家計の**可処分所得向上に資する取組み**を『重点取組項目』に設定し、組合員の生活改善に取り組むこととします。
- (2) 取組みにあたっては、他行・他社高金利ローンからろうきんの低金利商品への借換を推進し、組合員の「可処分所得向上額前年対比UP」をめざします。
- (3) 大学生の約 5 割が利用している奨学金について、社会人になってからの返済負担が将来不安に繋がっている状況の改善に向け、組合員の負担軽減に取り組みます。
- (4) 協同組合組織や福祉事業団体との連帯により、以下のろうきん商品・サービスを重点運動項目とします。

全道推進会議・重点運動項目
①「マイプラン」や「メンバーズローン」等を活用した高金利商品からのろうきん商品への借換の取組み
②「奨学金借換ローン」および「奨学金借換＋αローン」の周知活動の展開
③「全力応援 pack」の周知による有期・短時間等労働者組合員の取引拡大の取組み
④職域活動費を効果的に活用した、可処分所得向上運動に関する学習会開催により組合員への周知活動の展開

＜共通取組み＞

1. 「つなぐプロジェクト for SDGs」推進運動の展開【資料 12 参照】

- (1) ろうきんが、組合員にとって「一番よく利用する金融機関」であり、「身近に感じる金融機関」となるよう、会員・推進機構とろうきんが一体となって、ろうきん運動の強化と利用者の裾野拡大をめざします。
- (2) 「つなぐプロジェクト for SDGs」の取組みにあたっては、引き続き、「**会員自主目標推進運動**」を【重点取組項目】に設定し、ろうきんとの連携を強化します。
- (3) 今年度も年度当初に寄付先を選定し、地域団体への貢献と連携を進めます。
- (4) 大会議案書での取組方針化や機関紙掲載、また執行委員会・学習会等での議題化等により、組合員へ広く知らせる活動をブロック労福協・産別と連携し展開します。
- (5) コロナ禍に組合加入した若年層組合員に対し、労金運動の学習会を継続して行ってきた経過があることから、取組範囲を拡大し、更に運動を前進させるため「フルキャッシュバックサービス」等の各種サービス周知を強化するとともに、ろうきんが設定する「Young pack キャンペーン」などを活用し、産別・単組および地域における「組織拡大」と連動した取組みと併せて、メイン化を通じた生涯取引実現に向けた取組みを展開します。
- (6) 2026 年度に実施される「連合北海道・2026 生活アンケート」に参画を行います。

2. 「生活応援運動」の取組み ～「生活設計」「生活改善」「生活防衛」～

- (1) 「**生活設計**」運動は、「マイナス金利政策の解除」から「金利のある世界」へと転換し、今後も「政策金利の引き上げ」の影響が想定される中、引き続き、ろうきん商品の周知活動を展開するとともに、以下の取組みをそれぞれの組織実態や組織事情を踏まえて、ろうきんと連携の上、取り組みを展開します。
 - ① 「だから♪ろうきん 財形応援キャンペーン」を展開し、組合員の資産形成に取組みます。取組みにあたっては、勤労者のみが利用できる財形貯蓄制度について、資産形成における重要な「守りの資産」であることを周知する取組みを展開します。
 - ② 退職者層の生涯取引に向けて、「退職金結集運動」を展開します。活動にあたっては、組合役員帯同オルグの実施や、職域活動費を活用した学習会・セミナーに取組みます。
 - ③ 金庫創立 75 周年記念特別金利定期預金『つなぐ』を活用し、現役世代から高齢者世代まで広く預金結集に向けた取組みを展開します。
 - ④ ろうきん運動の原点である「預金結集運動」に基づく「季節キャンペーン」を展開し、夏季・冬季一時金の結集とあわせて、「お子さま口座」を中心に家族取引の拡大をめざします。
 - ⑤ 「つなぐプロジェクト」と連動し、非対面商品・サービスの取引拡大をめざします。

全道推進会議・重点運動項目
ア. 「財形預金」、「エース預金」などの積立型定期預金の推進
イ. 退職者向け「高金利定期預金商品（年金定期・リラックス等）」の推進
ウ. 組合員や退職者のニーズを捉えた「投資信託」・「国債」などの推奨
エ. 「iDeCo」や「NISA」など税優遇のある積立型投資商品の推奨
オ. 非対面サービスである「エコ通帳」「ろうきんアプリ」「ろうきんダイレクト」などの推進

- (2)「生活改善」運動の取組みについては、「可処分所得向上運動」を【重点取組項目】に設定し、ろうきんとの連携強化を図ります。また、組合員の「生活向上」に資する取組みとして、住宅ローンや轟ローン・教育ローンなどの目的ローンの周知、利用拡大に取組みます。
- (3)「生活防衛」運動の取組みについては、それぞれの組織実態や組織事情を踏まえて、ろうきんと連携の上、以下の取組みを展開します。
- ① 組合員の突発的な出費に備え、「マイプラン」保有運動を展開します。特に若年層にとっては、「資産形成」を進めると同時に、「マイプラン」の適用金利が優遇される「Young pack キャンペーン」の周知活動を展開します。
 - ② マネートラブルや多重債務から会員・組合員を守るための運動として、動画視聴等を活用した学習会・セミナー等の開催に取組みます。
 - ③ 多重債務に陥った組合員の相談は、「お客様相談室」を中心とした対応を行っていましたが、北海道ろうきん各営業店の「多重債務相談員」による相談体制が、定着・安定化したことから、今後は「多重債務相談員」と連携した対応を行うこととします。

3. 職域活動費の効果的な活用【資料 13 参照】

会員自主目標設定会員数・学習会参加者数増加に寄与するよう、職域活動費活用方法の周知活動を行います。

(1) 2026 年度職域活動費
① 年度予算 3,000 万円
② 組合員 1 人当たり活用上限 2,000 円
(2) WEB 会議での活用例
① 会員が主催する WEB 会議において、各接続拠点（労組・支部単位等）の「会場・設備」に係る費用の助成。
② WEB 会議開催の際に、接続拠点ごとに提供する「弁当代・懇親会」に係る費用の助成。

4. 推進機構活性化運動の展開

- (1) 地域や職場でのろうきん運動の浸透に向け、必要に応じて WEB 環境を活用するなど、本支店・出張所推進委員会への出席率向上に取組みます。
- (2) ろうきんがホームページ上に開設している「組合員様専用サイト」を活用し、地域・職場で工夫しながら取組んでいる各級ろうきん推進委員会の独自キャンペーン等の取組共有を図ります。また、必要に応じて同サイト内にある「ろうきん News」「機関紙用データ」を基にした教宣物の作成や、「WEB アンケート BOX」を活用した取組みを展開します。

5. ブロック別研修会の開催

2026 年度より開催地域の事情を踏まえ、より参加しやすい環境を整えるため、ブロックの編成は変更せず、開催地を基準としたブロック別研修会を開催することとし、年度開催回数を 3 回から 2 回とします。

なお、2026 年度は、網走・日胆にて開催し、参加対象者をろうきん運動の担い手となる会員中堅役員ならびに青年女性層組合員とし、前回開催規模と同程度の人数参加を要請する予定としています。開催日程・開催地については、以下の通りとします。

【2026 年度以降のブロック別研修会開催（案）】

年 度	ブロック名	開催地	対象営業店
2026 年度	網走	北見市	北見・網走・遠軽
	日胆	苫小牧市	室蘭東、苫小牧、静内
2027 年度	道北	旭川市	旭川、富良野、名寄、稚内、留萌、滝川、芦別、砂川
	道東	釧路市	釧路、帯広、中標津
2028 年度	道央	札幌市	札幌市内・江別・千歳・小樽・倶知安・岩見沢
	道南	函館市	函館、八雲

【2026 年度開催内容】

対象ブロック	開催日	開催地
網走	10 月 3 日（土）	北見市
日胆	10 月 23 日（金）	苫小牧市

【参考：前回開催内容】

ブロック名	参加者		ブロック名	参加者	
	各店推進委員会	人 数		各店推進委員会	人 数
網 走	北見支店	15 名	日 胆	室蘭連合	34 名
	網走支店	9 名		苫小牧支店	25 名
	遠軽出張所	8 名		静内支店	7 名

6. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

生涯取引の観点から、「ろうきん友の会」への加入を積極的に働きかけるとともに、つなぐプロジェクトと連動する「年金受取口座移管運動」に取り組めます。

7. 組合員とろうきんの接点拡大に向けた取組み

「団体インターネットバンキング」、「貸金控除事務支援サービス」、「QR 伝票作成システム」、を推進し、会員、ろうきん双方の事務効率化により活動時間の確保を図るとともに、組合員に対する福祉向上の運動強化に取り組めます。

Ⅱ. 2026 年度予算（案） <2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日／単位：万円>

1. 「地域活動費」「職域活動費」「事務局費」予算（案） (単位：万円)

科 目	2025 年度	2026 年度	増 減
地 域 活 動 費	5,349	5,257	－92
地域活動費(つなぐPJ表彰金)	36	27	－9
職 域 活 動 費	3,000	3,000	±0
事 務 局 費	200	200	±0
合 計	8,585	8,484	－101

2. 地域活動費 店別予算（案） (単位：万円)

店 名	2025 年度	2026 年度	店 名	2025 年度	2026 年度
営 業 部	240	238	滝川(※1)	166	155
道 庁	124	124	(赤 平)	—	—
札 幌 北	196	196	砂 川	105	105
札幌麻生	116	116	芦 別	87	87
札幌西連合	155	154	旭 川	222	223
札 幌 東	173	171	富 良 野	131	131
札幌平岡	148	148	留 萌	134	133
江 別	114	113	名 寄	165	155
千 歳	140	130	稚 内	195	195
小 樽	164	163	帯 広	322	323
倶 知 安	133	133	釧 路	233	234
函 館	231	229	中 標 津	151	146
八 雲	134	134	北 見	178	178
室蘭連合	229	222	(紋 別)	—	—
苫 小 牧	201	200	遠軽(※1)	211	180
静 内	166	166	網 走	154	154
岩見沢(※1)	231	221	合 計	5,349	5,257
(夕 張)	—	—			

※1) 店舗内店舗化に伴い、夕張・赤平・紋別出張所推進委員会は地区推進委員会へ移行しており、地域活動費は、母店推進委員会（岩見沢・滝川・遠軽）での予算計上とし、一律部分に対し5年間の経過措置を設けます。

※2) つなぐプロジェクト表彰金は除く。

Ⅲ. 各キャンペーンの推進

1. 2026 ろうきんサマーキャンペーン

預金結集運動は、ろうきん運動の原点であり、労金利用者の生活向上に向けた重要な取り組みです。本キャンペーンにより、会員・推進機構と一体となった「ろうきん運動」を展開します。

(1) 実施時期

2026 年 6 月 1 日 (月) ～ 7 月 31 日 (金)

(2) キャンペーン内容

5 万円以上の「定期預金(預入期間 1 年以上)」または「エース預金」を預入頂いた方の中から抽選で 55 名の方に以下のプレミアムを進呈します。

	プレミアム	
A 賞	JCB ギフトカード 3 万円分	5 名様
B 賞	QUO カード 2 千円分	50 名様
	合 計	55 名様

Ⅳ. 「優良会員」および「個人活動家」に対する表彰(案) 【資料 14 参照】

「優良会員および個人活動家に対する表彰規程」に基づき、2025 年度における「優良会員 24 会員」「個人活動家 11 名」の表彰(案)について、提案します。

Ⅴ. 「会員労組を経由する組合員との取引」に関する留意事項

～ 資料 15 参照 ～

Ⅵ. 規約、会計規則、旅費規程 改正(案)【資料 16 参照】

この間の事務取扱、並びに実情に即した取扱いを反映することを目的に、規約、会計規則、旅費規程 改正(案)を提起します。

Ⅶ. 役員の変更

下記の通り、役員を変更します。

役職	旧役員氏名	新役員氏名	所 属
幹事	的場 芳男	大場 博之	友の会

Ⅷ. 今後の日程

開催日時(予定)	会議名	開催場所
2026 年 10 月 21 日(水) 15 時	第 1 回全道推進会議	ホテルポールスター札幌

以上